

学校自己評価表

学校法人セムイ学園 東海医療科学専門学校

評価対象期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

目次

基準1	教育理念・目的・育成人材像等	1	基準7	学生の募集と受け入れ	13
基準2	学校運営	2	基準8	財務	14
基準3	教育活動	3	基準9	法令等の遵守	15
基準4	学修成果	5	基準10	社会貢献	16
基準5	学生支援	8			
基準6	教育環境	12			

基準1 教育理念・目的・育成人材像

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
1-1	学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められ、実現するための具体的な計画・方法を持っているか	4	<p>【学生の手引き】</p> <p>セムイ学園の精神、特性をスチューデントマニュアルに掲載し、オリエンテーションにて説明。</p> <p>【校長講話】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. セムイ学習法 2. ストレス・マネジメント 3. リベラルアーツ 世界史の中の日本 <p>【特性】</p> <p>朝礼時に音読を実施し、あるべき教育者像を周知している。</p>
1-2	・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	3	<p>【教育目標】</p> <p>各学科にホームページ上で教育目標などを掲載し人材育成に取り組んでいる。</p> <p>【業界のニーズへの対応】</p> <p>教員は各職能団体、学校協会の研修、総会等で最新の情報を入手して求められる人材育成に取り組んでいる。</p>
1-3	理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	4	<p>教職員にはスチューデントマニュアルを配布しており、学外にはホームページ上で公表している。</p>
[評価] ※ 4:適切 3: ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

根拠資料

・学校案内2017、2018 ・東海医療科学専門学校ホームページ <http://www.tokai-med.ac.jp/kagaku/> ・平成29、30年度スチューデントマニュアル

基準2 学校運営

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
2-1	人事、給与に関する規程等は整備されているか。	4	整備されている。就業規則、諸規定は、学内サーバーの共有フォルダに保存されており、教職員が閲覧可能となっている。
2-2	学校の目的・目標を達成するための事業計画が定められており、学校は事業計画に沿って運営されているか	3	事業計画については、各校及び法人本部で作成し、評議員会及び理事会で意思決定されている。目標管理制度の充実を図り、能力開発、職場活性化に取り組んでいく。
2-3	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	4	運営組織は、組織図において明示している。法人全体の重要事項については、理事会・評議員会が組織され、意思決定を行っている。また、毎月経営会議を開催し、学校経営に係る事項や不定期に発生する重要事項について、意思決定がなされている。
2-4	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	教育活動等の情報公開については、文部科学省の定めるガイドラインに基づき、学園のホームページにおいて情報公開に取り組んでいる。
2-5	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	サイボウズofficeを導入し、情報の可視化と共有、業務の効率化を図っている。
[評価] ※ 4:適切 3: ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

根拠資料

- ・セムイ学園ホームページ <http://www.tokai-med.ac.jp>
- ・H29年度 セムイ学園 事業報告書、平成30年度事業計画書

基準3 教育活動

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
3-1	教育目標・育成人材像は明確になっているか	4	セムイ学園の精神をスチューデントマニュアルに掲載し、オリエンテーションにて説明。
3-2	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	教育課程編成委員会を実施（2回/年） 学校評価委員会（1回/年）
3-3	教育課程は、適切に編成されているか(体系性)	4	各学科ともに概ね科目、年次配当は妥当である。
3-4	各科目はカリキュラムの中で適当な位置付けをされているか	4	各学科ともに概ね科目、年次配当は妥当である。
3-5	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	学則、履修規程に明記している。
3-6	進級、卒業の基準は明確になっているか	4	学則、履修規程に明記している。
3-7	教員の教授力(インストラクションスキル)を向上させる研修を行っているか	3	専門職団体主催の教員研修（理学療法科1名、作業療法科1名）を受講。 愛専各主催の教員研修（臨床工学科2名、作業療法科1名）を受講。
3-8	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	各期終了時に各教員単位で実施。
3-9	授業評価が授業改善に活かされているか	3	評価が低い場合には各学科長より面談等を実施。 非常勤講師で学科長からお願いしにくい場合は、教学部が対応。
3-10	国家試験等の指導體制は確立されているか	4	職業教育であるため資格取得が前提である。 教員は全員が国家試験経験者であるが、学習方法に多少の違いはあるが、概ね教員がチューターとなりサポートしている。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

根拠となる規定、資料等

・平成29、30年度スチューデントマニュアル

基準4 学修成果

・臨床工学科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
4-1	就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	2	臨床実習先や卒業生からの情報を共有し就職活動サポートの1つとしている。就職活動は基本担任が取りまとめを行うが学科教員全員でサポートを実施。しかし、5月1日時点で全員が就職内定を取ることが出来ていない。
4-2	中退率の低減が図られているか	2	基礎学力の向上と授業の理解度を深めるため、授業後に補習(特に工学系を中心に)を毎週実施し、基礎学力の底上げを行っている。 また、学生の面談も一昨年よりも機会を増やし対応したが、中退率の低減は思うようになっていない。
4-3	国家試験対策を推進し資格取得率の向上が図られたか	4	一昨年以上に授業後の補習を実施。また、学内教員でも役割分担を行い成績の底上げを行った第31回臨床工学技士国家試験の合格率が100%であった(37名全員卒業)。

・理学療法科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
4-1	就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	4	成績良好な学生に対しては早い時期から就職活動するように促している。成績がおもわしくない学生に関しては、成績向上後に就職活動を随時解禁している

4-2	中退率の低減が図られているか	3	平成28年度退学者16名/208名 (7.7%) 平成29年度退学者17名/209名 (8.1%) 各担任が面談を行い、学生の様子をこまめにチェックできており、概ね良好な結果が得られている
4-3	国家試験対策を推進し資格取得率の向上が図られたか	3	昨年度よりも多く特別授業を行ったが、今年度は問題難易度が上がったため、昨年度より合格率は低下した。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

・作業療法科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
4-1	就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	4	キャリアサポートセンターと協力し、2年次・3年次にそれぞれ就職指導の講義を行った。センター教員・学科教員で就職試験・面接等のフォローを行った。
4-2	中退率の低減が図られているか	4	新年度入学者に対して、入学3か月前から月1回(全3回)「入学前学習会」を開催し、入学後に3年間を共に過ごす学生との交流を図った。また、「リフレッシュ授業」としてGWと夏休みの長期休暇明けに、遠足などのレクリエーションを行い、モチベーションの維持を図った。結果として退学者は0名であった。
4-3	国家試験対策を推進し資格取得率の向上が図られたか	4	合格率は93.1%であり、全国平均も上回った。(77.6%) 例年の国家試験の出題傾向や難易度の変化を分析し、過去問題だけではなく、業者の過去問題も使って新規問題に対応出来るようにした。

・柔道整復科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
4-1	就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	3	29年度もキャリアサポート(学生支援課)による就活講座を行い夏休み前から施設見学や就職に向けた取り組みを続けており、今年度一部の学生では早くから内定が出ていた。今年度も学力に不安のある学生は国試後に就活に動き出していたが、国対学習を優先した結果であり今後もみられると考えている。
4-2	中退率の低減が図られているか	3	学業不振、欠席の多い学生には担任教員による指導、三者面談等を行い、中退防止に努めている。
4-3	国家試験対策を推進し資格取得率の向上が図られたか	3	国家試験の難易度が上がったが、合格率は、全国平均を上回ることができた。国試対策について改善を行いながら進め、今後も結果が伴っていくよう努めたい。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2.やや不適切 1.不適切			

・言語聴覚科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
4-1	就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	3	キャリアサポート講習会を開催して就職活動をバックアップしている。国家試験に合格した者は、全員就職活動をしている。

4-2	中退率の低減が図られているか	4	進路変更による退学者は、個人的事情によるものであった。社会人に対しては、STになりたいという思いだけでなく、自分を見つめ直すアドバイスを継続して行ってゆきたい。
4-3	国家試験対策を推進し資格取得率の向上が図られたか	4	継続して、過去のデータ分析から、今の成績での国家試験合格率、科目別正答率を出し、合格ラインと苦手なものを意識させるようにしている。学生は国家試験合格率に敏感に反応していると思われる。

基準5 学生支援

・臨床工学科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	キャリアサポートと随時連携をとりながら就職試験対策の実施ができています。また、履歴書の添削、面接練習においては学内教員でも行い学生の就職サポートに努めた。
5-2	父母との連絡は密に行われているか(特に未成年の場合)	4	出席状況がよくない場合など、保護者に連絡が必要な場合は随時連絡している。また年1回の保護者会を実施し学校生活の報告を行っている。
5-3	卒業生への支援体制はあるか	4	国家試験に不合格であった学生に対しては希望者が居た場合、授業に参加させる聴講制度を実施。 また、就職先でのトラブルや悩みがあった場合、学校での面談や就職の斡旋を実施している。
5-4	学生の生活指導・勉学指導がきちんと行われているか	4	非常勤講師とも連携をとり、問題ある学生を早期に把握。時間のある教員は、授業後に各科目の補習を実施している(個別指導)。また生活指導においての面談はほぼ毎日時間が許す限り実施中。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

・理学療法科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	キャリア講習だけでなく各学生の希望分野への支援を全教員で行っている
5-2	父母との連絡は密に行われているか(特に未成年の場合)	4	出席状況がよくない場合など、保護者に連絡が必要な場合は随時連絡している。
5-3	卒業生への支援体制はあるか	4	同窓会主催の勉強会を3回/年行った。 また再就職等の相談は随時行っている
5-4	学生の生活指導・勉学指導がきちんと行われているか	4	欠課、欠席が目立つ学生や成績が思わしくない学生への指導は随時担任より行っている。

・作業療法科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	キャリアサポートセンターと連携し、情報提供・就職指導・試験・面接の練習等を行った。
5-2	父母との連絡は密に行われているか(特に未成年の場合)	4	年に2回(5月・9月)に3学年で保護者会を行った。学年ごとの分科会や保護者との個人面談を行って情報交換を行った。また、必要に応じて保護者に学校に来てもらっての面談も行った。
5-3	卒業生への支援体制はあるか	4	同窓会を組織しており、年2回の卒業生を対象とした勉強会と、外部の勉強会と提携して卒業生の割引参加を行った。また、転職などの相談には適宜乗るようにしてあり、求人情報の提供を行っている。

5-4	学生の生活指導・勉強指導がきちんと行われているか	4	担任を中心にクラス運営を行い、授業態度・生活態度の指導を行った。心配な学生には面談を実施し、必要に応じて保護者を呼んでいる。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

・柔道整復科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	柔道整復科は一部の学生（特に社会人学生）は就職先が決まっており就活をする必要のない状態の学生がいる。半面就職希望の学生も多くキャリアサポートセンター（学生支援課）と連携しながら、就職先、学生と就職先の間に入り連絡を取りながら、高い就職率を目指し、支援している。
5-2	父母との連絡は密に行われているか(特に未成年の場合)	4	欠席が多い学生、再試験が多い学生について面談指導が再三なされており、適宜保護者への連絡、三者面談など行い学業に専念できるよう対応している。
5-3	卒業生への支援体制はあるか	4	資格取得者の卒後研修が定期的に行われている。資格未修得の卒業生には聴講制度、国試対策、受験支援を行っている。
5-4	学生の生活指導・勉強指導がきちんと行われているか	4	欠席が多い学生、再試験が多い学生については教員による生活面、学習面での面談指導が行われている。保護者への連絡を行い、三者面談など適宜行い学業に専念できるよう対応している。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

・言語聴覚科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	臨床実習のスケジュールがそれぞれであるため、個人のスケジュールで活動している。特別に依頼があった時にはメールを使って情報提供をしている。
5-2	父母との連絡は密に行われているか(特に未成年の場合)	4	基本は本人との話し合いによるが、必要に応じて保護者に連絡をしている。
5-3	卒業生への支援体制はあるか	3	卒後研修では場所を提供している。就職、国家試験対策等、情報提供ができるシステムになっている。
5-4	学生の生活指導・勉学指導がきちんと行われているか	4	履修状況、出席状況により、指導が必要な学生については、欠席、遅刻、提出物、成績等の状況を教員全員で共有し、学科会議で検討し、指導等の対応策を検討している。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

・教務 学生支援課

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	日本学生支援機構奨学金はもとより、教育訓練給付制度にも対応している。
5-2	父母との連絡は密に行われているか(特に未成年の場合)	4	奨学金・給付金ともに、担当者を決めて一元管理しており、個人情報管理も徹底している。

5-3	卒業生への支援体制はあるか	4	健康診断は4月に全校生徒に対して行っている。また保健室はプライバシーが守れる環境で利用できるようになっている。
5-4	学生の生活指導・勉学指導がきちんと行われているか	4	臨床心理士の有資格者に相談できる相談日を、週1回設けている。また予約・相談内容ともにプライバシーに配慮している。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

基準6 教育環境

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
6-1	設備、機器・備品は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	学科からの教育機器、機材購入要望書に基づいて、購入検討を行い、適宜の機具機材を購入し、設備の充実を図っている。
6-2	防災に対する体制は整備されているか	3	避難訓練を実施し、中村消防署に訓練届も提出している。備蓄品の保管スペースの確保と、予算化を行い、緊急時の食料を1学年分確保した。備蓄充実を図っていく。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

基準7 学生の受け入れ募集

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
7-1	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	4	グループ校を含め過去3年間に入学実績のある高等学校283校を指定校とし、在校生の状況、卒業生の進路等の報告を行った。
7-2	学生募集活動は、適正に行われているか	4	時代のニーズに沿った多様な入学試験を実施している。 ① A0入試は書類審査（エントリーシート）と個人面接により判定を行っている。また希望者にはエントリーシートの添削の支援も行っている。 ② 学校推薦入試、指定校推薦入試、社会人入試、一般入試においては小論文の採点基準を設け明確化し、判定している。また、一般入試の学力試験は科目の選択が可能になっている。 ③ 留学生には留学生特別入試で対応している。 入学試験の合否決済については、学科長より校長へ決裁書の申請を行っている。
7-3	学生募集において資格取得、就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4	国家試験合格率、就職（内定）率などの情報はホームページやパンフレットで情報提供を行っている。
7-4	学生納付金は妥当なものとなっているか	4	近郊の競合校と比較して同程度になっている。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

根拠となる資料

- ・学校案内、サポートブック、募集要項、ホームページ

基準8 財務

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3	歳入に対する人件費比率が高いため、給与及び賞与を見直し計画的に実行している。経費削減策などに取り組み、単年度黒字化を実現し中長期的に財務基盤の安定化を目指している。 平成29年度は、単年度黒字である。
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものか	3	予算、収支計画は前年度の執行状況及び、法人全体の状況を鑑みながら、法人本部にて調整し策定され理事会にて承認され実行している。期中に施行状況を関連部に公開している。 学校、各学科の収支状況の開示を実施する。
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	公認会計士による会計検査を受け、適切な会計に努めている。 会計監査については、法人本部の所管で公認会計士による外部監査、および監事による財務監査を実施しており、指摘事項があった場合は適切に是正措置を講じている。 会計士監査の往査は、平成29年度延べ20日実施した。
<p>[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切</p>			

根拠資料

- ・平成29年度 事業活動収支計算書

基準9 法令等の遵守

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
9-1	法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	コンプライアンス研修会として、ハラスメントに関する研修、著作権、個人情報についての研修会を実施した。 また、内部監査を年2回実施し、問題となった事項についてはフォローアップを行い、是正状況を確認している。
9-2	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	建学の理念・目的、教育および管理・運営内容の全般について、学校養成施設自己点検、学校自己評価を実施し、改善を図っている。
9-3	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	学校法人としての社会的責任を全うするため、個人情報の保護に関する法律および関係する法令を遵守し、適正な取り扱いに務めている。情報セキュリティシステムを再構築し、学内外の情報セキュリティの加害行為を抑止している
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

根拠資料

- ・H29年度 セムイ学園 事業報告書

基準10 社会貢献・地域貢献

・臨床工学科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	2	現在、ほとんど社会貢献活動はできていないが、愛知県技士会のイベントでは教育資源の一部を提供している。社会貢献の情報があれば今後も積極的に参加をしたいと考える。
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	3	現在、日本赤十字社による献血活動の普及を行っている。献血を広く知ってもらうため、授業後に献血センターの見学などを取り入れることで多くの学生の献血の協力がえられた。また、愛知県臨床工学技士会主催のイベントに対しても学生案内（募集）を行い、ボランティアスタッフとして参加した。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

・理学療法科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4	外部団体の講習会等に教室や備品の貸し出しを行っている。 また文化祭時に、この地区の方を招待し体力測定や健康指導を行っている
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	3	各施設から依頼のあった夏祭り等のボランティアに積極的に学生を参加させている。 学科から依頼しているものは無い。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

・作業療法科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4	学科の教員が参加している勉強会の開催を当校を使用して行った。また同窓会と提携している勉強会・学会の開催をサポートした。
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4	精神科病院・老人保健施設・有料老人ホーム等の施設でお祭りや行事イベントにボランティアとして学生を送った。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

・柔道整復科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4	中・高生に対して柔道整復師の職場体験、説明を受け入れている。また教員が高校に出向き柔道整復師の仕事について紹介する取り組みも行っている。
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4	高校などの部活に対して学生がボランティアでトレーナー活動を行っている。また学校トレーニングジムでのアスリートに対するボランティア活動も行っている。
[評価] 4:適切 3:ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切			

・言語聴覚科

番号	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等およびその根拠、課題とその解決方法等
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4	<p>卒後研修の場として、学校を提供している。臨床実習のバイザーでもあるため、学生指導の勉強の場にもなっている。</p> <p>言語・発達障害サポートルームひまわりが、本格運営できるようになった。地域の療育センターや、卒業生からの紹介の数が増えている。</p>
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	2	<p>研修会の案内、ボランティアの案内をしている。臨床実習前に患者様と関われる機会としての位置づけができないか引き続き検討課題として考えている。</p>